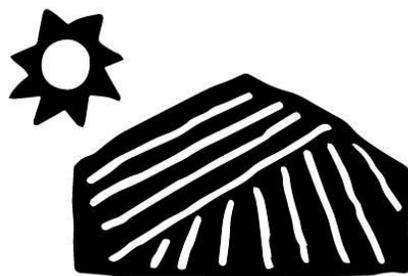


空き家まちづくりワークショップ ご案内

地域を見つめなおし 空き家問題を楽しく学び・考え まちづくりにつなげていく



一般社団法人

タガヤス

空き家まちづくりワークショップとは

- 空き家まちづくりワークショップとは、空き家所有者や空き家利用者だけでなく、**地域にお住まいの一般の方々が、地域を見つめなおし、一人一人が意識すべきこと、地域全体で考えるべきことをゲームを通して学び・考える**ためのワークショップです。
- ゲームを通して**地域を見つめなおすことにより、空き家問題だけでなく、まちづくり意識の芽生えにつながっていきます。**
- タガヤスが開発した「空き家スゴロク」や「空き家カルタ」を用いて、子供から大人まで楽しく学び、考えることができます。
- **建築や不動産、法律などの専門知識は必要ありません。地域の身近な空き家問題を自分事・地域事として考えていきます。**
- ゲームの前には、「空き家がなぜ問題なのか」の基本的なレクチャーを行い、ゲーム終了後には、学び・考えたことを振り返ります。
- 動画などで記録を残せば、行政や企業のPR素材にもなります。



開催の様子はタガヤスYouTubeでご覧いただけます。
<https://www.youtube.com/@tagayasu-N>

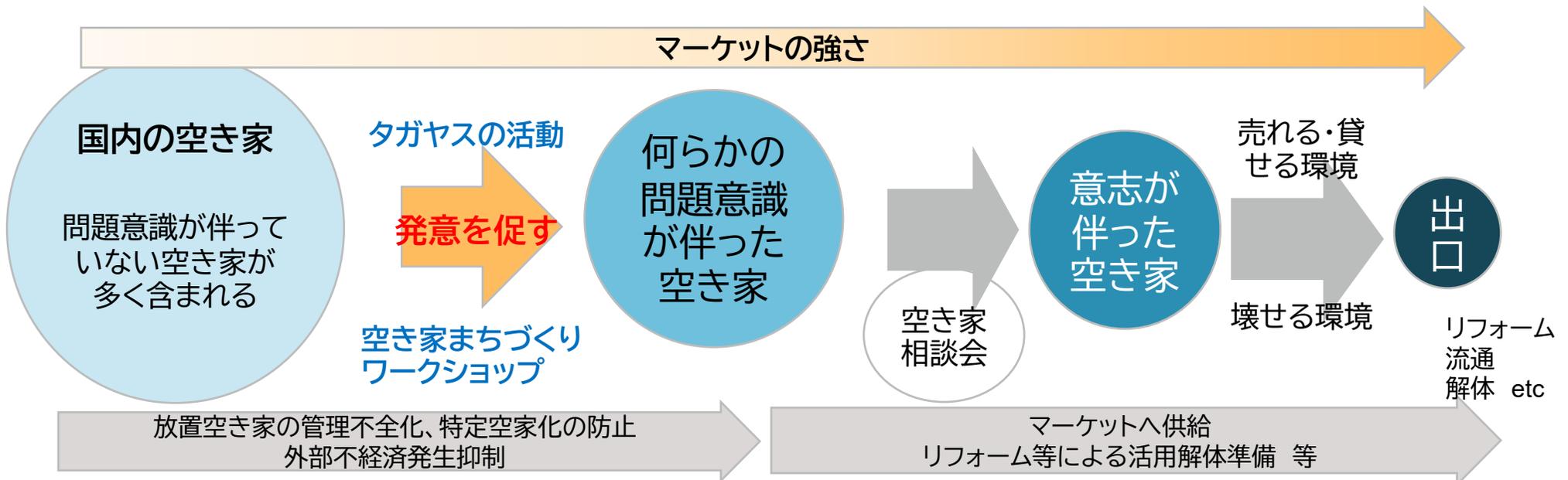
- 本格的な人口・世帯数の減少時代を迎え、空き家問題の一層の深刻化が予想されます。
- 利活用される、除却される空き家は、ほんの一部であり、多くの空き家は空いたままの状態
で放置され、地域に悪影響を及ぼす可能性があります。
- そのような空き家問題を、座学により一から学ぶのは大変です。また、**座学や相談会を開催し
ても、問題意識の芽生えがない空き家所有者の方に参加いただくのは難しい**のです。
- そこで、地域の方々が「空き家スゴロク」や「空き家カルタ」の遊びを通して、**空き家問題を自
分事・地域事として考え、その意識を地域や家庭に戻って伝えていただきます**。

- **空き家問題が自分事・地
域事として、地域全体に
浸透し、さらには空き家所
有者に伝わり、問題意識
の芽生えにつながります。**
- **その意識の芽生えがまち
づくりにつながっていき
ます。**



空き家対策の中での位置づけ

- 国内には約900万戸の空き家があると言われています。その中には、売りに出されているが買い手がついていないもの、別荘として利用されているものなどが含まれますが、何ら問題意識を持たれないまま長期間放置されている空き家も多く含まれます。
- その中から、売却や賃貸、解体などの出口にたどり着くためには、**空き家所有者が何らかの問題意識を持ち、その問題意識が具体的な方針に変わり、さらには物件のコンディションが良い、住宅マーケットが一定程度ある、所有者が資金調達できる、などの様々な条件をクリアする必要があります。**
- 問題意識を持てれば、空き家相談会などで専門家に相談することにより方針が定まってきます。しかし、問題意識がない状態から発意を促すことはとても難しいのです。
- しかし、左から右への流れをスムーズにしないと、空き家問題は深刻化する一方なのです。



空き家スゴロクとは

- 空き家スゴロクは、「上流」「中流」「下流」の3つのボードからできています。

上流: 空き家問題の基礎や地域の空き家の状況を見つめなおし考えます。

中流: 空き家所有者の方に、どのようにして意識を高めていただくかを学びます。

下流: 空き家対策からまちづくりにつなげていくことを学びます。



- サイコロを振ってマスにとまると、空き家に関する様々な出来事がまっています。
- 「ストップ」では、参加者全員でお題の空き家テーマについて考え・議論します。
- 「クイズ」では、空き家に関する様々なクイズに答えていただきます。
- マスでのイベント、ストップでのお題、クイズ内容について、ファシリテーターが丁寧に解説して、参加者と一緒に考えていきます(ここが重要)。
- 最後にイベントでもらった♥の数が一番多いチームが優勝となり、「空き家マスター」の称号が付与されます。

※上流から下流までのボードをすべて遊ぶと2時間以上の時間がかかるので、ワークショップでは、地域の空き家問題を見つめなおし考える「上流ボード」、もしくは上流から下流までを一枚のボードにまとめたダイジェスト版を使用するのが一般的です。③

☒地域環境の保全、まちづくり意識の高揚

地域一人一人が空き家問題だけでなく、地域をあらためて見つめなおすことにより、管理不全に陥る空き家を防ぎ、地域の手により地域環境を保全する意識の芽生えが期待されます。漠然とした問題意識が徐々に具体化され、まちづくりの行動に移行しやすくなります。

☒空き家政策における地域との連携

空き家問題は、個人の財産が対象となるため、政策として地域と連携することが難しい場合があります。しかし、地域の中で空き家問題が「自分事・地域事」として浸透することにより、**地域の積極的な協力・参加が期待されるようになります。**

☒空き家バンクの登録物件数の増加

空き家バンクへの登録は、所有者の発意が必要です。地域の自分事・地域事の意識の高まりがコミュニティの中で伝播し、**所有者の問題意識の萌芽と空き家バンク登録への発意が期待されます。**

☒地域からの苦情が地域からの相談ごとに

空き家の数が増加していくと、それだけ行政への苦情の数も増えていきます。空き家問題が自分事・地域事として浸透していくと、地域の中で考える行動がクッションとなり、**苦情・クレームが、行政への相談ごとに変化することが期待されます。**

☒ どんな人が参加できるの？

地域にお住まいの方々すべてを対象としています。

空き家所有者や空き家利用者、関連事業者の方々に特化したものではありません。

(一般的な例)

- 地域自治会の集まりやコミュニティの集まり
- 自治体や民間が開催するイベント
- 中学校、高校での社会課題を学習する場
- 大学でのゼミの一環

※小学生も対象とできますが、先生や保護者の方、地域の大人の方が一緒に参加されることをお願いしております。

☒ 時間はどのくらいかかるの？

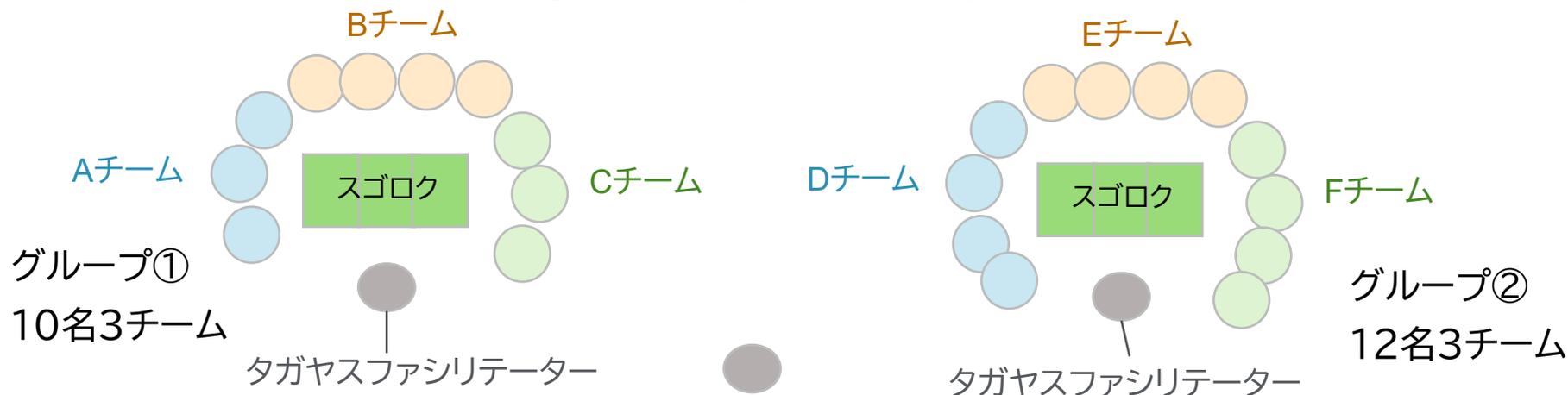
空き家スゴロクの前に簡単なレクチャー、終了後の振り返りを含めて**90分ほど**です。

ただし、しっかりとした講義や、地域の方々を交えたパネルディスカッションを加えることも可能です。詳しくは、**⑧ページ**をご覧ください。

☒ どうやって遊ぶの？

- 空き家スゴロクは、複数のチームでグループをつくって遊びます。
- 一つのチームは3名前後とし、3チームほどで一つのグループをつくります。
※一人だけのチームでも構いません。一つのチームは5名程度が上限です。
- 一つのグループで空き家スゴロクボードを囲みます。
- グループごとにタガヤスファシリテーターが付き、ワークショップマネージャの司会のもと、ゲームの進行と解説を行います。

(例) 22名の参加で遊ぶ場合



ワークショップマネージャー

※時間を管理するとともに、それぞれのグループでの議論の内容を踏まえて、適切な解説を行っていきます。

遊び方

上流から下流まで、3つのステージを舞台に空き家への意識を醸成させて行きましょう！

上流

空き家のことを
地域で考える 



中流

空き家所有者の
意識を変える 



下流

空き家対策から
まちづくりへ 

ゲームマスターを決めよう

スゴロクを遊ぶ人とは別に、クイズを出したり、解説を読んだりするゲームマスターを決めよう。

チームをつくろう

遊ぶ人が多い場合、数名のチームを複数つくります。チーム一つに対してコマは一つです。

各チームが順番にサイコロを振ってコマを進めます。

遊ぶ人が数名の場合には、一人一つのコマを持って順番にサイコロを振ってコマを進めます。

ストップ！でみんなで考えよう

マスの中にある「ストップ！」は、サイコロの目にかかわらず、必ず止まってください。

ストップ！では、いろいろなお題が用意されています。お題のテーマについて、参加者全員で考えて話し合ってみましょう。

お題の解説は、別添の「空き家対策一気通貫解説ブック」に書かれています。

自動で進む

 のマークに止まったら、サイコロを振らなくてもさらに一マス進みます。たくさんのハートがもらえるかも！

ハートをもらおう

サイコロの出た目によって、ハートがもらえたり、とられたりします。

「クイズ」マスでは、空き家についての○×クイズがあります。クイズの答えがあたればハートが一つもらえます。

ハートの数を競って空き家マスターになろう！

- タガヤスでは、開催地域の空き家の状況や地域特性を調査し、開催地域毎にワークショップの進め方をアレンジしていきます。
- 空き家問題のしっかりとした解説や講義をお求めの場合には、1時間ほどのお話を行います。
- 空き家スゴロクと空き家カルタの同時開催、シンポジウム(講演会やパネルディスカッション)との組み合わせも可能です。

おすすめプログラム	しっかり学ぼうプログラム	体験・研修プログラム
<p>実績が一番多いプログラムです。 <実施地域> ・長野県松本市信州大学 ・長野県松本市大野川中学校 ・埼玉県下市町村</p>	<p><実施地域> ・長野県伊那市 ※伊那市では、第一部をシンポジウム、第二部をワークショップとしています。 シンポジウムでは、地域で空き家対策に取り組む事業者の講演や、市職員を交えたパネルディスカッションを開催しています。</p>	<p>主に、自治体研修や、主催者側の事前レクチャーとして用いられています。 おすすめプログラムを約60分に短縮する場合や、空き家スゴロクの考え方や進め方の解説を行いながら体験していただくプログラムです。</p>
<p>参加人数: 30名弱 2グループ制 <費用目安> 20万円~</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 主催者挨拶(5分) 2. 【講義】空き家のことを考えよう (15分) 3. 【ゲーム】空き家スゴロクで遊ぶ (60分) 4. 【振返り】ポイントの解説 (10分) <p>計: 90分</p>	<p>参加人数: 30名弱 2グループ制 <費用目安> 40万円~</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 主催者挨拶(5分) 2. 【講義】空き家のことを考えよう (45分) 3. 【ゲーム】空き家スゴロクで遊ぶ (60分) ※伊那市では、空き家カルタも同時に実施しています。 4. 【振返り】ポイントの解説 (10分) <p>計: 120分+休憩時間 ※シンポジウムを加える場合には240分</p>	<p><費用目安> 5万円~</p> <p><パターン1> おすすめプログラムで【ゲーム】を45分ほどに短縮して全体を60分程度に収める</p> <p><パターン2> 空き家スゴロクの考え方や進め方を解説しながら、60分ほどかけて体験していただく。</p>

※上記以外でのアレンジも可能です。費用は参加人数等によって変化しますのでご相談ください。旅費交通費、会場費などの実費は別途となります。ご予算に応じてのアレンジも行いますのでご相談ください。

- 空き家カルタとは、空き家に関する様々な出来事をカルタにアレンジしてあり、親子で一緒に空き家問題を楽しく学ぶゲームです。
- 子供たちが普段あまり接することのない、「空き家」をテーマとした読み札を読み上げます。
- 例えば、「特定空家」をテーマとした札をとった子供たちは、「とくていあきやってなに？」と興味津々で大人たちにたずねます。
- 多くの大人たちは、直ぐには答えられないので、「解説book」をみて、子供たちに教えます。
- つまり、**子供たちの遊びを通して、大人たちの学びの機会となるのです。**
- ご家庭に帰っても、カルタの話をするすることで、**次世代を担う子供たちの教育につながる**とともに、**地域の問題を家庭内で考える機会**にもなります。



空き家カルタワークショップとは

親子で空き家問題を学び、子供たちの想像力で空き家タウンをウキウキタウンに変えていきます。

①参加者には楽しく空き家カルタで遊んでいただきます



②空き家について興味を持ってもらった後にお絵描きワークショップに移行します。



カルタの題材にもでてくるさまざまなトラブルをかかえる空き家を子どもたちの想像力で素敵な空間に変えていきます。



Before



After



子供たちの想像力で空き家がすべて楽しい空間に変わりました。建物の数も増え、宿泊施設も2件できました。

カルタ 30分
お絵描きWS 50分
お話 10分
計90分ほどのWSです。

空き家カルタだけの実施も可能です。空き家スゴロクワークショップと組み合わせると、多様な世代が参加できるワークショップとなります。費用についてはお気軽にご相談ください。



私たちタガヤスは、スタッフ一人一人が鋤
です。

地域を鋤で丁寧に掘り、耕し

地域の皆さまと種をまき、水をまき、まち
づくりの実をわかちあう。

それがタガヤスの理念です。

団体名 一般社団法人タガヤス
代表理事 小澤 理市郎
所在地 〒338-0001 埼玉県さいたま市中央区上落合2-3-2 Mio新都心
電話 070-7622-0546 (合同会社鋤型研究所が事務局をしております)
ホームページ <https://tagayasu.or.jp/>
E-mail info@tagayasu.or.jp